

感染リスクを軽減させた競技会運営に向けた対応について

競技者・チーム関係者（指導者・コーチ・部員）対策

一般財団法人神奈川陸上競技協会

本協会主催競技会に関わる競技者・チーム関係者（指導者 コーチ 部員）の方々は、つぎの事項を遵守して競技会に参加してください。

【競技会開催の前提条件】

- 1 緊急事態宣言の解除神奈川警戒アラートが発出されていない。
(※発出されても①～④の条件下では開催する。)
 - ①移動制限の解除
 - ②不要不急の外出自粛の解除
 - ③店舗営業自粛の解除
 - ④学校で部活動・対外競技会への参加が認められていること。(高校生 中学生)
- 2 競技会開催を神奈川県が認めていること。
- 3 県内において新型コロナウイルス感染症の診療体制が整っている緊急時の後方支援病院があること。
- 4 競技会に関わる全ての人（競技役員・競技運営関係者・競技者・チーム関係者等）は、各自つぎのように健康状態を整えて競技会に臨むこと。
 - ・3密（密閉 密集 密接）を避けて行動する。
 - ・体調（咳 鼻水 咽頭痛 下痢 味覚障害 嗅覚障害等の自覚症状）管理を徹底する。
 - ・手洗い、手指の消毒、洗顔を徹底する。
 - ・マスクを着用する。息苦しさを感じた場合は、マスクを外して、水分補給や休憩を取るなど無理をしない。
 - ・開催1週間前からの体調報告と検温の義務。
 - ・終了後、2週間以内に発熱等の症状があった場合には最寄りの保健所、医師会、診療所等に報告・相談しその後必ず神奈川陸協に報告する。
- 5 日本陸連作成 陸上競技活動再開についてのガイダンス「競技会の開催について」に沿った競技会運営をする。
- 6 主催者は、競技会に関わる全ての人への感染に対するいかなる責任を負わない。

【競技者・チーム関係者（指導者・コーチ・部員）対策】

- 1 競技者・チーム関係者は、大会1週間前から検温を義務付け、指定の「大会前／提出用新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」に記入し大会本部へ提出する。
一般・大学生・クラブチームは、チーム代表者が提出すること。但し、中学生は中体連、高校生は高体連でそれぞれ指示された書類を提出すること。
また、提出前に、提出するデータをコピーまたは写真に撮り、保管すること。
未提出者は、競技会の出場や会場への入場はできない。
- 2 「大会前／提出用 新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」は、県陸協HPからダウンロードし、代表者を通じて参加者へ配布すること。
- 3 主催者は、「大会前／提出用 新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」の個人情報の取り扱いには充分注意しながら1ヶ月保管し、適正かつ速やかに廃棄する。また、この個人情報を保健所、医療機関等の第三者へ提供する事がある。
- 4 不確かな競技者・チーム関係者がでた場合は、その場で検温を実施し状況によっては、競技会への出場や会場への入場を許可しないことがある。
- 5 競技の時以外（招集中・移動中・待機中）は、マスクを必ず着用する。
- 6 競技会の規模、目的に応じて参加資格を制限することがある。
 - ・年齢、参加資格記録等でレース数、組数を調整することがある。
- 7 更衣室の使用は、短時間にする。（※シャワールームは使用禁止）
- 8 体液の付着したゴミは、自己責任で持ち帰って処理する。
- 9 中長距離レースでは、少人数でも2段階スタートで実施することがある。
- 10 開会式、閉会式、表彰式は原則、実施しない。
- 11 フィールド種目の待機中、ソーシャルディスタンスを確保する。
- 12 投擲器具や滑り止め（炭酸マグネシウム）は、共用できる。但し、滑り止めは、競技者自身が容器に手を入れて着ける形ではなく競技役員や補助員から適量を受け取る方法、または、競技者の持ち込みも可とする。投擲器具についても各自持ち込みを可とする。
感染防止の観点から投擲器具・滑り止めは、持ち込みを推奨する。
- 13 跳躍競技の助走練習、投擲練習は、競技役員が1人ずつ順番に競技者を呼び出す方法で実施する。
- 14 フィールド種目の待機中、競技者同士の会話は、極力避けマスクを着用する。
- 15 声を出しての応援、集団での応援は、禁止する。
- 16 競技者へ付き添う場合は、禁止する。
- 17 ウォーミングアップは、個別に行い集団によるもの禁止する。
- 18 密集回避のために競技者へ付き添う者のウォームアップ場への入場は禁止する。
- 19 競技場施設への入場方法は、3密を避け、転倒等の事故が起こらないよう開門時に係員が指示するのでそれに必ず従うこと。各団体が並ぶ人数は1名とする。
順番に並ぶ際は、お互いにソーシャルディスタンスを確保して会話も極力避けること。
- 20 競技会終了後、参加者は新型コロナウイルス発症症状が4日以上続く場合は、必ず最寄りの神奈川県衛生部局に報告し、神奈川陸協に報告する。
- 21 観戦の観客への対応事項
 - ①関係者以外の競技場施設への入場はできない。
 - ②競技場施設入場口に看板や貼紙で注意を促す。

感染リスクを軽減させた競技会運営に向けた対応について
競技役員・競技運営関係者の配慮事項

一般財団法人神奈川陸上競技協会

本協会主催競技会に関わる競技役員・競技運営関係者の方々は、つぎの事項を遵守して競技会に参加してください。

【競技会開催の前提条件】

- 1 緊急事態宣言の解除神奈川警戒アラートが発出されていない。
(※発出されても①～④の条件下では開催する。)
 - ①移動制限の解除
 - ②不要不急の外出自粛の解除
 - ③店舗営業自粛の解除
 - ④学校で部活動・対外競技会への参加が認められていること。(高校生 中学生)
- 2 競技会開催を神奈川県が認めていること。
- 3 県内において新型コロナウイルス感染症の診療体制が整った緊急時の後方支援病院があること。
- 4 競技会に関わる全ての人(競技役員・競技運営関係者・競技者・チーム関係者等)は、つぎのように健康状態を整えて競技会に臨むこと。
 - ・3密(密閉 密集 密接)を避けて行動する。
 - ・体調(咳 鼻水 咽頭痛 下痢 味覚障害 嗅覚障害等の自覚症状)管理を徹底する。
 - ・手洗い、手指の消毒、洗顔を徹底する。
 - ・マスクを着用する。息苦しさを感じた場合は、マスクを外して、水分補給や休憩を取るなど無理をしない。
 - ・開催1週間前からの体調報告、検温の義務。
 - ・終了後、2週間以内に発熱等の症状があった場合には最寄りの保健所、医師会、診療所等に報告・相談しその後必ず大会主催者に報告する。
- 5 陸上競技活動再開についてのガイダンス「競技会の開催について」に沿った競技会運営をする。
- 6 主催者は、競技会に関わる全ての人への感染に対するいかなる責任を負わない。

【競技役員・競技運営関係者の配慮事項】

- 1 競技役員・競技運営関係者は、大会1週間前から検温義務を義務付け、指定の「大会前／提出用 新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」に記入し大会本部へ提出する。また、提出前に、提出するデータをコピーまたは写真に撮り、保管すること。未提出者は、競技役員及び会場への入場はできない。
- 2 「大会前／提出用 新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」は、県陸協HPからダウンロードすること。
- 3 主催者は、「大会前／提出用 新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」の個人情報取り扱いには充分注意しながら1ヶ月保管し、適正かつ速やかに廃棄する。また、この個人情報を保健所、医療機関等の第三者へ提供する事がある。
- 4 3密の回避対策（担当：関係各係）
 - ・ソーシャルディスタンスの確保できる使用人数制限と室内換気確保。
対象場所：諸室、招集所、更衣室、スタート待機所、フィールド待機所
 - ・招集時刻を細分化したり、競技場所に直接集合する方式をとる。
 - ・室内練習場は、使用禁止とする。（担当：競技部から使用施設管理者へ依頼する。）
- 5 飛沫感染防止用にマスク着用、眼鏡、サングラス、使い捨て手袋を各自準備し携帯する。
（担当：全員）
- 6 用器具、通信機器、審判用具、計測機器、情報端末、その他共用物の使用後は手洗い・手指の消毒・洗顔を欠かさない。（担当：関係各係）
- 7 招集時刻を分散化（細分化）した競技日程を作成する。（担当：競技部）
- 8 招集所は競技者同士の距離を確保し招集手続きを簡略化し滞在時間を短くするよう工夫する。待機座席配置を工夫する。（担当：競技者係）
- 9 スタート地点での待機中の3密を回避するよう工夫する。（担当：出発係）
- 10 競技者紹介の簡略化（担当：アナウンサー）
- 11 レース後、手洗いへ直行する導線確保し、手洗い、洗顔を促す。（担当：マーシャル）
競技中、フィニッシュ後、倒れ込んだ競技者ケアのための防護体制。
ゴーグル、サングラス、使い捨て手袋、フェイスシールド等で対応する。ゴーグル、サングラスはその都度消毒する。（担当：マーシャル 監察員 出発係 医務係）
- 12 記録は、Web方式で広報する。（担当：記録係）
- 13 ミックスゾーンは、原則、設置しない。
- 14 表彰は、原則実施しない。実施する場合は、3密を回避し別会場で行う。その様子を大型映像やオンライン配信等で工夫する。（担当：表彰係）
- 15 感染防止対策を定期的に会場アナウンスする。（担当：アナウンサー）
- 16 競技場施設への入場方法は、3密を避け、転倒等の事故が起こらないよう開門時に係員が指示するのでそれに必ず従うこと。各団体が並ぶ人数は1名とする。
順番に並ぶ際は、お互いにソーシャルディスタンスを確保して会話も極力避けること。（担当：総務員 総務委員会 競技部）
- 17 諸室及び施設競技場内の水場に消毒液を準備するので定期的に消毒を心がけること。
（担当：総務委員会）
- 18 シャワールームは、使用禁止とする。（担当：競技部から使用施設管理者へ申し入れ）
- 19 更衣室の使用は、換気の徹底と一度の入室者数を制限し3密を防ぐ。担当係員を付ける。

(担当：総務員)

- 20 発熱者がでた場合は、テント等を設置し隔離室を確保する。(担当：総務員)
- 21 競技会の規模、目的に応じて参加資格を制限することがある。(担当：競技部)
年齢、参加資格記録等でレース数、組数を調整することがある。
- 22 3密が回避できる範囲で1日の競技会の参加人数を設定することや実施する競技会の特性により感染防止対策がとれる範囲で実施種目を決定することがある。(担当：競技部)
- 23 ウォーミングアップは、個別に行う。ウォームアップ場への付き添いの方の入場は禁止する。
(担当：練習場係)
- 24 中長距離レースでは、少人数でも2段階スタートで実施することがある。
(担当：審判長 技術総務)
- 25 紙幣・硬貨を取り扱う時は、手袋を着用する。(担当：庶務係)
- 26 トラック種目配慮事項
- ①スタート地点へは、2～3組ずつ誘導する。(担当：競技者係)
 - ②スタート前待機場所に余裕をもたせる。(担当：出発係)
 - ③招集中、移動中、待機中はマスクを着用するよう指示する。(担当：競技者係 出発係)
 - ④給水関係の競技役員・補助員は、競技開始前に手指を消毒し、マスク、手袋、フェースシールド等を着用する。(担当：用器具係と補助員)
 - ⑤給水にスポンジは、使用しない。(担当：用器具係と補助員)
 - ⑥混成競技控室は設けない。(担当：混成競技係)
 - ⑦腰アスリートビブスは、共用しない。使い捨て方式のものを使用する。
(担当：競技者係)
- 27 フィールド種目配慮事項
- ①待機場所の競技者同士のソーシャルディスタンスを確保する。(担当：各主任 審判長)
 - ②投擲器具や滑り止め(炭酸マグネシウム)は、共用できる。但し、滑り止めは、競技者自身が容器に手を入れて着ける形ではなく競技役員や補助員から適量を受け取る方法、または、競技者の持ち込みも可とする。投擲器具についても持ち込みを可とする。
感染防止の観点から滑り止め・投擲器具は持ち込みを推奨する。
(担当：投擲主任 審判長)
 - ③跳躍競技の助走練習、投擲練習は、競技役員が1人ずつ順番に競技者を呼び出す方法で実施する。
(担当：各主任 審判長)
 - ④待機中、競技者同士の会話は、極力避けマスクを着用させる。(担当：各主任 審判長)
 - ⑤競技役員・補助員の手旗、パソコン、計測器などの共用はできるだけ避けるが、共用する場合は、使用後、手洗い、手指の消毒、機器の消毒を行う。(担当：使用する各係) ⑥競技に使用した用器具類は、競技終了後、消毒をする。(担当：使用する各係)
 - ⑦コーチがコーチ席から競技者に向かって話す場合は、マスク着用の上、ソーシャルディスタンスを確保するよう呼びかける。(担当：マーシャル)
- 28 <競技役員の競技場施設入場時の配慮>
- ①競技役員受付は、複数箇所設ける。または、係毎まとめて主任が受付をする。その際は、ソーシャルディスタンスを確保すること。整列に必要なマークを設置する。
担当係員は、マスク、シールドを準備し対応する。(担当：役員係)
 - ②競技役員受付で不確かな者に検温を実施することがある。(担当：役員係 総務員)

29 <競技会終了後の対応事項>

①施設所有者・管理者への確認事項（担当：競技部）

- ・全ての箇所の消毒
- ・全ての競技用機材の消毒

②参加者への周知事項と県陸協対応事項（担当：総務委員会）

- ・競技会終了後、参加者は新型コロナウイルス感染症状が4日以上続く場合は必ず最寄りの神奈川県衛生部局に報告し、神奈川県陸協に報告する。
- ・参加者から感染を発症したとの報告があった場合の対応方針について神奈川県衛生部局に予め確認しておくこと。

③競技終了後、2週間以内に感染の報告を受けた場合、感染情報を入手し、神奈川県衛生部局に連絡し、指示に従い協力する。（担当：総務委員会と医事部長）

④神奈川県陸協は、日本陸上競技連盟に報告する。（担当：総務委員会）

30 <観戦の観客への対応事項>（担当：総務員）

- ①関係者以外の競技場施設への入場はできない。
- ②競技場施設入場口に看板や貼紙で注意を促す。

31 メディア・取材への配慮事項（担当：報道係）

- ①事前に申請のあったものに限定し、最小限の人数で取材するよう要請する。
- ②インタビュー等の取材は、競技者同意のもとにソーシャルディスタンスを確保し3密を防ぐ。
- ③撮影エリアは、ソーシャルディスタンスで区切る。
- ④マスクの着用や体調管理について「競技会運営に向けた感染防止対策」を遵守させる。

2020年度 神奈川 長距離記録会							
9月22日（火）三ツ沢公園陸上場							
順序	競技開始時間	種目	組	スタート地点 集合時間	参加人数	番組編成 参考記録	備考
1	13:00	男子 5000mW	1	12:45	13	21:23.00~28:00.00	TP使用
2		女子 5000mW	1		6	25:06.50~31:45.20	TP使用
3	13:40	女子 5000m	1	13:25	9	15:44.90~記録無し	TP使用
4	14:10	中学男子 3000m	1	13:55	32	10:38.34~記録無し	
5	14:25	中学男子 3000m	2	14:10	33	10:00.00~10:30.56	
6	14:40	中学男子 3000m	3	14:25	32	9:00.90~9:59.00	
7	14:55	中学女子 3000m	1	14:40	21	11:30.00~記録無し	
8	15:10	中学女子 3000m	2	14:55	21	10:19.35~11:29.50	
9	15:25	男子 3000m	1	15:10	30	10:10.00~記録無し	
10	15:40	男子 3000m	2	15:25	33	8:30.00~10:00.00	
11	15:55	女子 3000m	1	15:40	31	11:46.45~記録無し	
12	16:10	女子 3000m	2	15:55	31	9:35.57~11:45.00	
13	16:25	男子 5000m	1	16:10	34	19:00.00~記録無し	TP使用
14	16:50	男子 5000m	2	16:35	34	17:48.54~18:59.79	TP使用
15	17:15	男子 5000m	3	17:00	35	17:10.00~17:45.00	TP使用
16	17:40	男子 5000m	4	17:25	36	16:15.42~17:08.35	TP使用
17	18:05	男子 5000m	5	17:50	36	14:50.00~16:15.00	TP使用
18	18:25	男子 10000m	1	18:10	2	36:23.00~37:23.00	
19		女子 10000m	1		1	37:48.0	

2020 神奈川 長距離記録会 競技注意事項

《新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について》

・参加関係者の皆さんは、事前に神奈川陸上競技協会のHPに掲載されている、「新型コロナウイルスの感染リスクを軽減させた競技会運営に向けた対応について」(競技者・チーム関係者向け)に記載されている内容を必ず確認してください。

・競技会当日の提出書類について

①一般・大学生は「体調管理チェックシート」を提出する。

②中学生・高校生は顧問が「体調管理チェックシート」を確認・保管し、「参加状況報告書」を提出してください。

※これらの書類の提出がされなければ、競技場への入場及び競技会への出場はできません。

1 規則

・本記録会は2020年度日本陸上競技連盟競技規則及び大会申し合わせ事項による。

2 競技場

・競技場は全天候舗装で、トラック走路の厚さは13mmである。走路の保全と競技者の安全のために、競技規則143条を厳守すること。競技用シューズについてはWAの新規定は適用しない。

・競技場は11時40分に開場する。それ以前には絶対場内に入らないこと。

3 練習

・練習は補助競技場で行う。(利用可能時間12:00~17:00) ※公園内など競技場外では一切禁止とする。

または競技役員の指示に従い、競技場内で競技に支障のないように注意して行う。

4 招集

・招集時間は競技開始15分前である。招集場所は各種目スタート付近にておこなう。

・招集に遅れた場合は欠場とみなし出場を許さない。

5 アスリートビブス (ナンバーカード)

・アスリートビブス (ナンバーカード) は全て特別ナンバーカードを使用する。

・アスリートビブス (ナンバーカード) は本部 (役員室2) で配布する。 **※競技開始1時間前**

・5000m、5000mWは、周回確認用のチップのついた腰ナンバー標識と写真判定用の腰ナンバー標識を受け取り、周回確認用は左腰に、写真判定用は右腰に結着する。

周回確認用腰ナンバー標識のみ、競技終了直後にフィニッシュ地点で返却する。

競技者は安全ピン12本 (5000m、5000mW出場者は16本) を各自で用意すること。

6 競技について

・走路順については主催者が抽選しプログラムに示す。

・3000m、5000m、5000mWはグループスタートとする。

・競技運営上、著しく遅れた場合は競技を中止させることがある。5000mWは35分、10000mは40分で、最終周回に入っていること。

7 計時

・計時は電気計時 (100分の1秒)。各種目の競技結果はWEB上で確認すること。 **※QRコードを掲示します。**

8 抗議

・競技規則146条によって行うこと。

9 その他

・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策から、保護者、OB・OG等の観客は入場できない。(無観客競技会)

・プログラムの訂正は競技開始前までに本部 (庶務係) に申し出ること。

・競技会で発生した傷害については、主催者側で応急処置を行う。以後の治療等は各自の責任において行うこと。

・競技場内で声を出しての応援は行わない。(拍手等を推奨する。)

・貴重品の管理は各団体、個人が責任をもって行い、ゴミは各自で責任をもって持ち帰ること。